

大規模事業

キャンパス移転計画

●移転の経緯

九州大学は、専門教育と全学教育の統合・連携などの教育研究上の要請とキャンパスの老朽・狭隘改善を含めた安全性等の確保のために、1991(平成3)年10月、福岡市西区元岡・桑原地区、前原市及び志摩町(平成22年1月より糸島市)にまたがる新(伊都)キャンパスへの統合移転を決定し、「時代の変化に応じて自律的に変革し、活力を維持し続ける開かれた大学の構築」と「それに相応しい教育・研究拠点の創造」をコンセプトに、「アジアを重視した世界の拠点大学」、「日本を代表する基幹総合大学」、「都市と共に栄え、市民の誇りと頼りになる大学」を目指して整備を進めてきました。

●伊都キャンパスの概要

伊都キャンパスは、東西約3km、南北約2.5km、約272ヘクタールの広大な敷地です。博多湾の西、糸島半島のほぼ中央に位置しており、福岡の中心、天神から約15km、公共機関で約40分の距離にあります。

都市の近郊という利便性を持ちながら、玄界灘に望む豊かな自然が残された静謐な環境にあります。また、ここは、古くから朝鮮半島などからの往来が盛んであったことを示す遺跡が数多く存在する歴史ある地域です。

●移転整備計画

この伊都キャンパスに、箱崎地区(文系、理学系、工学系、農学系等)、六本松地区(全学教育等)、原町地区(附属農場)の3キャンパスを統合移転した、人口約2万人、床面積約50万㎡の施設計画です。



2001(平成13)年3月には、長期にわたるキャンパスづくりを一貫して行うための指針である「九州大学新キャンパス・マスタープラン2001」をまとめ、これに沿って各地区の基本設計、建築設計、建物を進めてきました。

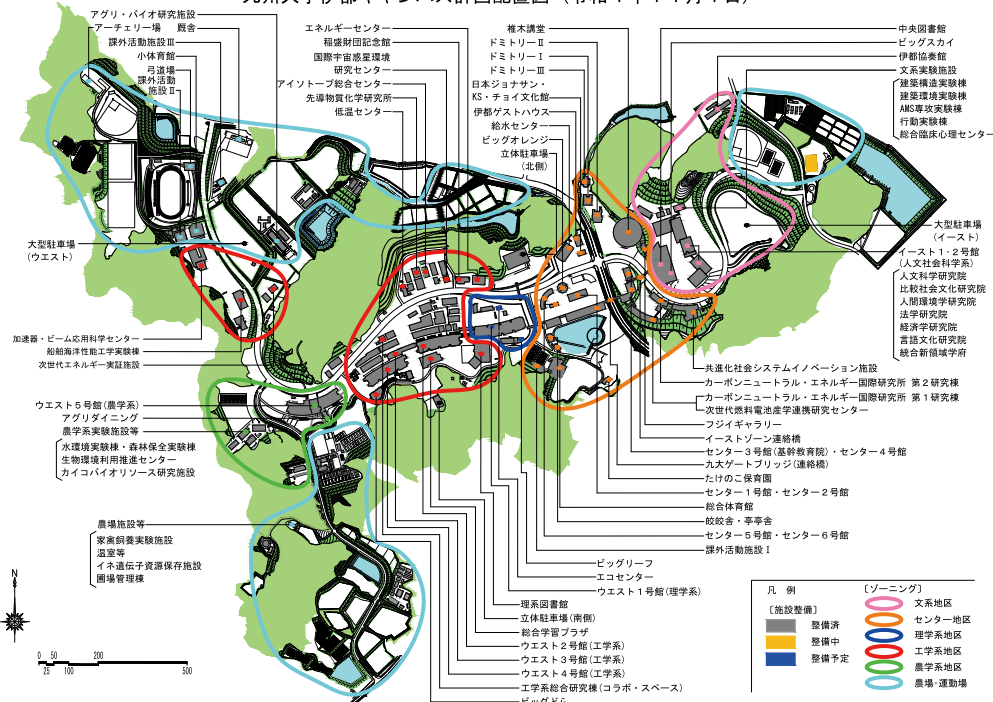
●移転スケジュール

移転の第Ⅰステージとして、2005(平成17)年及び2006(平成18)年には、工学系の学生・教職員約5千2百人が移転を完了しました。

移転の第Ⅱステージとして、2009(平成21)年4月には基幹教育院、地球社会統合科学府・比較社会文化研究院の学生・教職員、同年10月には数理学府・研究院等の学生・教職員、併せて約5千6百人が移転して、生活支援施設関係者等を含めて1万2千人が集う九州大学で最大のキャンパスとなっています。

移転の第Ⅲステージとして、2015(平成27)年10月には、理学系の移転が完了し、農学系等が2018(平成30)年10月に移転が完了しました。

九州大学伊都キャンパス計画配置図(令和4年11月1日)



●学術研究都市構想に基づく

伊都キャンパス周辺のまちづくり

伊都キャンパス周辺では、伊都キャンパス誕生にあわせてJR九大学研都市駅が開業するなど、九州大学学術研究都市構想に基づくまちづくりが進んでいます。

伊都キャンパスの隣接エリアである元岡地区では、土地区画整理事業による拠点づくりが進められ、地区内に大学等の知の集積とポテンシャルを活用した福岡市産学連携交流センターやアイキューブオペラ (i³OPERA) を開設するなど、産学官連携による共同研究が盛んに行われています。さらに2012(平成24)年春には学生の住まいの供給が始まり、今後、民間企業の研究施設や商業施設の建設が予定されるなど、キャンパス周辺のまちづくりとして着実に整備が進んでいます。

また、キャンパス南口に位置する泊カツラギ地区(糸島市)などでも、学生の住まいや研究所施設用地の整備が着々と進められています。

●箱崎キャンパス跡地利用計画

移転後の箱崎キャンパス跡地の計画的なまちづくりと円滑な跡地処分に向けて、2012(平成24)年には、その基本的な枠組みを検討することを目的とし、「九州大学箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョン検討委員会」が設置され、2013(平成25)年2月に、福岡市長と九州大学総長に箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョンを提言しました。

箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョンの実現のため、跡地利用に関して必要な事項を連絡、協議することを目的に、「箱崎キャンパス跡地利用協議会」が設置され、平成27年3月に

は、「九州大学箱崎キャンパス跡地利用計画」を策定しました。

さらに、この跡地利用計画を踏まえ、まちづくりに共通する整備ルールや将来の絵姿等を示すことを目的として、「九州大学箱崎キャンパス跡地グランドデザイン」を平成30年7月策定しました。

★もっと詳しく知るには

・九州大学伊都新キャンパス情報

<https://campus.kyushu-u.ac.jp/index.html>

・箱崎キャンパス跡地利用計画情報

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/campus/hakozaki-campus/useplan/>

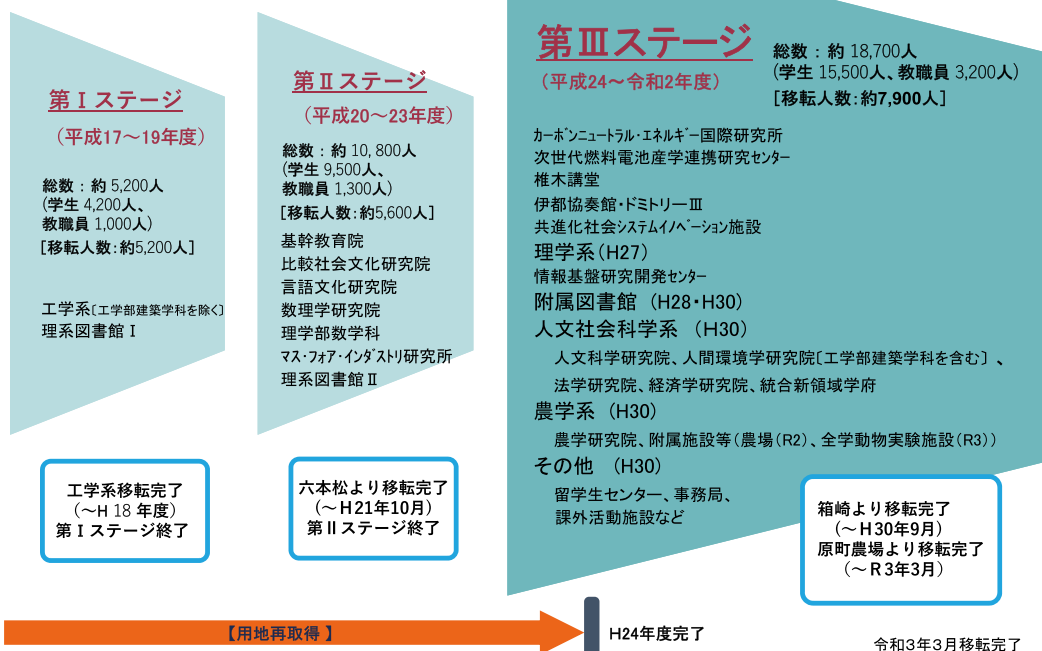
◆お問い合わせ先

・施設部施設企画課	092-802-2082 内線:90-2082
・キャンパス計画室	092-802-2096 内線:90-2096
・統合移転推進部統合移転推進	092-642-7135 内線:99-7135

九州大学基金

九州大学基金は、本学が、世界そして人類が希求する知を先導すべく、グローバル化する世界の学術リーダーとして、「知の新世紀を拓く」拠点の構築を目指し、世界中の人々から支持される質の高い高等教育を一層推進し、また、より善き知の探求と創造・展開の拠点として、人類と社会に真に貢献する研究活動を促進していくため、本学の教育研究、診療等に対する支援とその環境の更なる整備・充実を図ることを目的とし、

移転スケジュールと進捗状況



平成23(2011)年に設置されました。

○九州大学基金の事業

ー未来を切り拓くリーダーの育成ー

学生、研究者が安心して、教育・研究・診療に専念できる環境を実現し、グローバルに活動する、深い専門的知見と幅広い教養に支えられた豊かな発想力と判断力を持った指導の人材を育成するために、次のような事業を展開しています。

* 学生支援助成

次代を担う若者を育てることを目的として、特に優秀な学部学生に対して奨学金を給付する**山川賞**や、経済的に困難を抱えた学業成績が優秀な学生の修学を支援する**九州大学修学支援奨学金**など、学生に対して年間1億円規模の支援助成事業を実施しています。

詳しくは[コチラ](#)

* 女性研究者支援助成

若手女性研究者・女子大学院生優秀研究者賞(伊藤早苗賞)
学術上優れた研究成果を挙げた若手女性研究者ならびに女子大学院生を表彰し、副賞として研究費を授与します。

* 卒業生支援助成

卒業生・同窓会等との連携活動支援

卒業生との緊密なネットワークの形成や同窓会活動を活性化するための経費等を支援します。

* 使途特定プロジェクト

使途を特定された寄附金を積み立てて、**若手研究者育成・研究支援事業基金**や、**価値創造型半導体スペシャリスト育成プロジェクト**、**近代建築物の保存活用プロジェクト**、**箱崎サテライト旧工学部本館改修支援事業**、など各種プロジェクト事業を実施しています。

詳しくは[コチラ](#)

○九州大学基金への寄附

ー未来をつくる若者たちのためにー

教育・研究・診療等の環境整備を充実し、優秀な人材を継続的に輩出していくためには、十分な資金が必要です。教職員、卒業生、企業など、各方面からのご支援により財政基盤を確立し、事業を展開していきます。

* 九州大学基金紹介動画

九州大学基金を紹介する動画を公開しています。

皆様からのご寄附により実施している様々な事業について、支援を受けた学生の声とあわせて紹介していますので、是非ご覧ください。動画は[コチラ](#)

* 寄附の種類

九州大学基金では、大学に一任のほか、学生や教職員に対する支援のための**九大生応援基金(一般寄附)**と、特定のプ

ジェクトに活用する**使途特定寄附**を募集しています。

九大生応援基金 (一般寄附)	大学に一任	教育研究の更なる高度化のほか、地域社会との共創による活動や、ご寄附を適切に運営するための経費として活用しています。山川賞、海外留学支援や課外活動支援など、主に学生を対象とした支援助成事業に活用しています。
使途特定寄附		特定のプロジェクトの実施のために活用しています。現在実施中のプロジェクトは コチラ です。

すべての寄附メニューは[コチラ](#)からご覧いただけます。

* 寄附の方法等

1. 寄附の金額

金額の多少にかかわらずご寄附いただけます。なお、1回のご寄附は、事務手続きの都合上、1,000円以上(継続的にご支援いただく場合は年額2,000円以上)でお願いしています。

2. 寄附の方法

寄附には、以下の方法があります。リーフレット、振込用紙等を用意していますので、総務部同窓生・基金課へお問い合わせください。詳細は[コチラ](#)

- (1) クレジットカードによるご寄附
- (2) 指定金融機関からのご寄附
- (3) 指定金融機関以外の金融機関、ATM、インターネットバンキングによるご寄附
- (4) 遺贈によるご寄附
- (5) 不動産、株式等によるご寄附

3. 領収書

ご寄附を受領後、本学から寄附者様あてに「寄附金領収書」をお送りします。クレジットカード決済により継続的にご支援いただいている方には、1年分合計額の領収書を翌年1月中にお送りします。領収書は確定申告の手続き等に必要ですので、大切に保管していただきますようお願いいたします。領収書の再発行はいたしかねますが、領収書の代わりとなる「寄附金領収証明書」を発行することは可能です。

4. 税制上の優遇措置

九州大学基金(国立大学法人九州大学)への寄附金は、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金として、財務大臣から指定されています。

また、自治体の条例で本学への寄附金が控除対象として指定されている場合、寄附された翌年の1月1日に当該自治体にお住まいの方は、個人住民税の寄附金税額控除を受けることができます。本学は、福岡県、福岡市、糸島市などから指定を受けています。その他の自治体については、各自治体の税務担当課へお問い合わせください。

なお、控除を受けるためには、「寄附金領収書」を添えて所轄税務署に確定申告を行う必要があります。

*謝意について

1. 九大会員について

継続寄附(年額2千円以上)または単回寄附(1万円以上)をされた方への顕彰制度です。条件を満たせばどなたでもなっています。

ご寄附申し込み後、「九大会員証」を発行します。

九大会員証を提示することで、学内施設の利用や割引特典、ホテル・レストラン等の割引特典など多数の特典を受けることができます。

詳しくは [コチラ](#)

2. 寄附者公表、銘板設置、名称付与について

九州大学基金Webサイトや刊行物に寄附者の氏名等を掲載するほか、累計寄附額に応じて、銘版(プレート)に寄附者の氏名等を掲載します。また、本学既存の建物等や教育・研究環境の整備等を目的とした基金の名称に氏名等を冠することができます。(※いずれも公表を希望されない方は除きます。)

詳しくは [コチラ](#)

*その他の取り組みについて

九州大学基金活動報告書の作成や、九州大学基金セミナーの実施、公式SNSの開設など様々な活動を行っています。今後の活動についても、随時、九州大学基金のホームページ上に掲載していきますので、是非ご覧ください。

★もっと詳しく知るには

- ・九州大学基金ホームページ
<https://kikin.kyushu-u.ac.jp>
- ・九州大学基金 公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/kyudaikikin/>
▼Facebookまたはインターネットから
【facebook 九州大学基金】で検索
- ・九州大学基金 公式X (旧Twitter) 『@kyudaikikin』
<https://twitter.com/kyudaikikin>
▼X (旧Twitter) またはインターネットから
【X 九州大学基金】で検索
- ・九州大学基金・九大会員特典 公式Instagram 『kyudaikikin』
<https://www.instagram.com/kyudaikikin/>
▼Instagramアプリから
【kyudaikikin 九州大学基金】で検索
- ・九大会員(九州大学基金)公式LINE@アカウント
▼LINEアプリから【その他】⇒【友だち追加】
⇒【ID検索】『@iwa1859p』で検索
▼LINEアプリからLINEサービス【公式アカウント】
『九大会員』『九州大学基金』で検索
▼QRコードから <https://line.me/R/ti/p/%40iwa1859p>

◆お問い合わせ先

・総務部同窓生・基金課

TEL:092-802-2150

内線:90-2150

E-mail:k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp